

市内大学にてナッジ手法を活用した 省エネ推進に関する取組を実施します！

横浜市は、2050年までの脱炭素社会の実現を目指しています。このたび、無理せず自然に脱炭素行動を進めていくことを目的に、横浜市内の大学（昭和大学）にてナッジ手法（※）を活用した省エネ推進に関する取組を、共同事業者（ポリシーナッジデザイン合同会社・一般社団法人電力中央研究所）と実施します。

今後も多様な主体と連携し、脱炭素社会実現に向けたさまざまな取組を進めていきます。

※ ナッジ手法：規制や経済的インセンティブではなく、行動科学の知見に基づき、行動が行われる環境をデザインすることで行動変容を後押しする手法。

取組概要

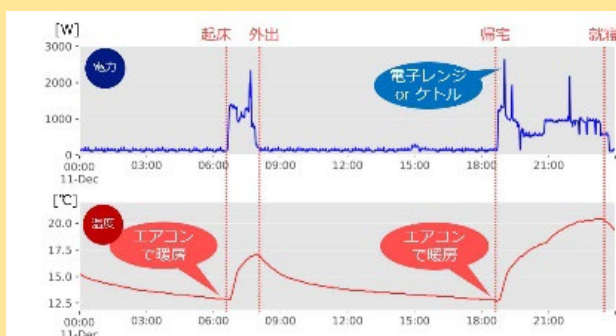
- 実施内容：**大学に、電力使用量を計測・表示する機器「モニターキット」を設置し、使用電力の見える化を実施します。
さらに、日々の使用電力の変化を可視化し、液晶モニターやメールにてお知らせするというナッジ手法の活用により、学生や大学職員の意識の変化を促し、省エネ行動を促進します。

<実施イメージ>

センシングを簡易に実現する「モニターキット」とその活用例（電力中央研究所）



モニターキット本体



可視化例

- 実施場所：**昭和大学 横浜キャンパス
- 実施期間：**令和5年10月～令和6年3月（予定）

お問合せ先

温暖化対策統括本部調整課担当課長 田邊 俊一 TEL 045-671-2477